

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	900.50	2020/11/9
High	908.22	2020/11/9
Low	854.11	2020/11/10
Close	894.32	2020/11/13

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	2990.00	2020/11/9
High	3028.00	2020/11/9
Low	2897.00	2020/11/10
Close	3007.00	2020/11/13

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2496.00	2020/11/9
High	2515.00	2020/11/10
Low	2309.00	2020/11/12
Close	2331.00	2020/11/13

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	8279.00	2020/11/9
High	8502.00	2020/11/9
Low	7765.00	2020/11/9
Close	7813.00	2020/11/13

ニュースエクスプレス

日本、2050年「グリーン社会の実現」 中国、2035年「全て環境車」

10月26日に招集された第203臨時国会において、菅総理大臣は所信表明演説の中で、2050年までに「グリーン社会」を目指すことを表明した。グリーン社会とは、カーボンニュートラル（carbon neutral、炭素中立）を実現し、CO2排出と消費をバランスさせることだ。

自動車では、ZEV（ゼロエミッション車:Zero Emission Vehicle）にすることである。ZEVとは、排出ガスを一切出さないEV（電気自動車）やFCV（燃料電池車）、水素燃料車などである。しかし、EVでは発電方式を自然エネルギーなどに切り替える必要があり、中国もFCVや水素燃料車など「グリーン水素」社会を念頭に置いているようだ。

<https://mainichi.jp/articles/20201026/k00/00m/010/077000c>

トヨタ 年末発売の新型「ミライ」を先行展示

トヨタ自動車は11月6日、12月初旬に発売を予定する燃料電池車（FCV）「MIRAI（ミライ）」の新型モデルの先行展示を名古屋・名駅のミッドランドスクエア地下1階で始めた。

ミライはトヨタが世界初の量産FCVとして2014年末に発売。今回が初めてのモデルチェンジとなる。セダンタイプは変わらないが、新型は全長、全幅ともにやや大きくなり4人乗りから5人乗りに。航続距離は初代の約650キロから3割アップの約850キロに伸びるといふ。

水素で発電し、走行時に水しか出さないFCVは「究極のエコカー」と評価される一方、水素を充填（じゅうてん）する施設が少ないなど利便性が課題。初代ミライは国内や欧米で約1万台が販売され、6月までに生産を終えた。

<https://www.chunichi.co.jp/article/150325>

中国の2020年10月新車販売台数、12.5%増 回復傾向鮮明に 中国自動車工業協会

中国自動車工業協会が発表した10月の新車販売台数は、前年同月比12.5%増の257万3000台だった。7カ月連続で前年同月実績を上回った。乗用車はSUVを中心に販売を伸ばし、同9.3%増となったほか、政府の公共投資の拡大により商用車は3割増と大幅に増えた。中国政府による景気刺激策の効果などにより、新型コロナウイルス影響からの回復が鮮明となっている。

中国の新車市場は2月の前年同月比約8割減を底に、徐々に持ち直し、4月以降プラス成長が続く。10月新車販売の状況について同協会は、内需拡大戦略及び各消費促進政策が持続力を発揮したと分析している。

中国に進出する日系自動車メーカー6社の10月の新車販売台数は同17.9%増で、トヨタ自動車は3割増、本田は2割増となるなど、中国の新車需要を取り込んで成長した。

<https://www.netdenjd.com/articles/-/240893>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA

WPIC直近の活動

- (株)フルヤ金属は、今年5月に低温活性触媒（FT-eco触媒）を活かした環境事業を担う新会社をAnglo American Plcと一緒に立ち上げた。そのFT-eco触媒は人体に有害なアレルギーや悪臭の原因となる揮発性有機化合物（VOC）や、植物の腐敗を早めるエチレンの除去に有効という。詳しくはプラチナ豆知識「クールなプラチナ触媒」（2020年11月11日）をご覧ください。 <https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2020/11/11>

- BASFとREFIRE（中国有名な水素関連事業を中心とするスタートアップ企業）が12月4日蘇州で開催するWPICのアンニュアルサミットをスポンサーすることになりました。それに、BASFはトップスポンサーとして午後にサブフォーラムを開く予定。本サミットでは、「新エネ・新素材・新エコ」をテーマに関連分野のトップ企業と権威ある専門家が一堂に会し、現在の国内外の政治・経済情勢と中国新エネルギー・新素材産業の更なる発展に向けて、白金族金属の科学技術における最新活用などを共に検討する。詳しくは <https://www.huodongxing.com/event/8569318933700>



(@wpicjapan)